

2021年1月5日

各位

年頭所感

あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスの影響を受け社会全体が大きな変化を迫られた年になりました。その中で、日本社会のデジタル化への人々の関心が急速に高まり、官民一体となったデジタル庁創設に向けた取り組みが進められていることは、私たちにとっても重要な出来事です。ブロックチェーン関連ビジネスへの国内大手企業の参入も増加してきており、日本もブロックチェーンを国家戦略として真剣に考えるときが来たのではないかと感じております。

さて、bitFlyer Group は 2014 年 1 月の創業から 8 期目を迎え、お陰様で国内最大の暗号資産・ブロックチェーン事業者へと成長させていただきました。bitFlyer から分社化して創業 2 年目を迎えた bitFlyer Blockchain の 2020 年は、これから訪れるブロックチェーン革命に向けた準備を着実に進めることができた年になりました。

4 月には純国産オリジナルブロックチェーン「miyabi」のクラウドサービスの提供を開始しました。「miyabi」は 2016 年のサービス提供開始以降、様々なお客様にご利用いただき安定稼働を継続しています。PaaS モデルでの提供を開始したことで、より多くのお客様にご利用いただけるよう「miyabi」利用者のコミュニティ強化などを進めてまいります。

6 月にはコロナ禍で変化を求められる株主総会に対応し、世界初となる「なりすまし防止機能付き」のブロックチェーン投票によるバーチャル株主総会を開催しました。ブロックチェーン ID ソリューション「bPassport」を活用して、なりすまし防止を実現しています。

10 月には住友商事株式会社と「不動産賃貸契約プラットフォーム」のプレ商用を開始し、煩雑な不動産契約を簡単にするための取り組みを開始しました。ここでも「bPassport」を活用しており「ブロックチェーン×不動産」のエコシステムの創出を推進しています。

その他にも、ブロックチェーンコンサルティングサービスの開始、「miyabi」プレイグラウンド（試用環境）の公開、大手企業とのジョイントビジネスなど、新しい事業の種を幅広くまくことができました。改めまして関係各位のご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。

私たちは「ブロックチェーンで世界を簡単に。」という創業時からのミッションの具現化に向け、社会的な課題をテクノロジーで解決し世界中の人々の生活をより便利にすべく 2021 年も果敢に挑戦してまいります。

本年もよろしく願いいたします。

bitFlyer 共同創業者
bitFlyer Blockchain 代表取締役
加納 裕三